



国土交通省

能登半島地震の復旧に予備費使用を閣議決定
災害復旧へ総額713億円

9月10日、令和6年能登半島地震の災害復旧等に713億円の予備費を使用することが閣議決定されました。

それによると、国道249号等の大規模被災箇所の通行確保等に係る道路災害復旧に295億円、被災3県の道路、河川、海岸、上下水道の早期復旧に166億円、七尾港や金沢港をはじめとした港湾施設等の損傷箇所に係る災害復旧に105億円、珠洲市、輪島市の地すべり発生箇所や、輪島市の河道閉塞箇所への土砂災害緊急対策に124億円が計上されています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo05_hh_000276.html



国土交通省・厚生労働省

建設業人材確保・育成の概算要求
地域の住宅生産事業者等への支援事業を創設

9月2日、国土交通省と厚生労働省は、令和7年度予算概算要求で掲げた、建設業の人材確保・育成に向けた取組を公表しました。

それによると、国土交通省は、新たに災害に対する対応力向上を目的とした安定的な住宅生産・維持管理事業に300億円を計上しました。これは地域の特色ある質の高い住宅整備による、技能維持・継承、担い手確保・育成等、地域の住宅生産事業者等に対し支援するものです。

https://www.mlit.go.jp/report/press/tochi_fudousan_kensetsugyo14_hh_000001_00233.html



厚生労働省

民間主要企業の夏季一時金妥結状況を公表
平均妥結額は 898,754円で過去最高

9月13日、厚生労働省は、民間主要企業の夏季一時金妥結状況を公表しました。集計対象は、資本金10億円以上かつ従業員1,000人以上で労働組合のある企業326社です。

それによると、労働組合からの平均要求額937,922円に対し、平均妥結額は898,754円（前年度比6.2%増）と過去最高の金額になりました。また産業別に見ると、建設29社の妥結額は1,007,331円（同2.2%増）で、自動車の1,038,777円に次いで高い金額となっています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_43424.html



建設業振興基金

CCUS技能者スマホアプリ
「建キャリア」登場

9月4日、建設業振興基金は、建設キャリアアップシステム（CCUS）の登録技能者向けスマートフォンアプリ「建キャリア」を11月29日にリリースすることを発表しました。

CCUSに登録している基本情報や就業履歴を技能者本人が容易に確認でき、登録している資格者証などをいつでも画面表示できます。また、能力評価のサポートや建退共掛金納付状況、CCUS応援団の特典なども確認可能です。ダウンロードは無料で、iPhoneやAndroidスマホでも利用できます。

<https://www.ccus.jp/attachments/show/ken-kyarii>



外国人技能実習機構

帰国後技能実習生フォローアップ調査結果
帰国後も建設関係の仕事は半数にとどまる

9月2日、外国人技能実習機構は、技能実習生7,936人を対象に、帰国後の実態把握を目的として2023年度に実施したフォローアップ調査の結果を公表しました。

それによると、帰国後の仕事内容が実習と同じまたは同種の仕事である割合は全体で65.1%でしたが、建設業では50.0%に留まりました。また、帰国後の就職状況では、「技能実習3号で戻る」「特定技能として日本に戻る」とする割合が全体で30.5%と増加傾向にあり、建設業でも34.2%となっています。

https://www.otit.go.jp/research_chousa_r5/



帝国データバンク

2024年8月の景気動向調査結果を公表
建設業の景気DIは3カ月連続で上昇

9月4日、帝国データバンクは、景気動向調査（2024年8月調査）の結果を公表しました。

それによると、建設業の景気DI（50を境としてそれより上であれば「良い」、下であれば「悪い」を意味する）は、47.3（前月比0.4上昇）と3カ月連続の上昇となりました。また、景況感について、「猛暑にともなうエアコン関連需要が増加している」、「インバウンド需要でホテルの設備更新意欲が旺盛となっている」などのコメントが挙がっています。

<https://www.tdb.co.jp/report/economic/ets202408/>

